

令和7年度第1回岐阜県ケアラー支援に関する有識者会議 議事概要

日時	令和7年9月3日(水) 13:55~15:20
場所	岐阜県庁 会議室304
出席委員(13名)	安藤委員、岩井委員、岩田委員、臼井委員、上ヶ平委員、 近藤委員(代理出席)、田部委員、都竹委員、服部委員、日比委員、 平光委員、藤井委員、安田委員(座長)
欠席委員(1名)	澤井委員
事務局	関谷健康福祉部次長(福祉担当) 地域福祉課 梅村課長、鷺見福祉人材対策監、井奈波係長、木下主任 【同席】 (株)Brand Vision(ケアラー支援に関する広報・啓発業務 受託者)
オブザーバー	障害福祉課、子ども家庭課 【欠席】高齢福祉課

議題①：ケアラー支援に関する令和7年度の取組みについて

議題②：ケアラー支援推進月間における広報・啓発の取組みについて

事務局	(資料に基づき、令和7年度の取組状況、推進月間における広報・啓発の取組予定について説明)
委員	動画の最後に、相談窓口やサービスにつながる場面を入れ、少し明るい形で終わるとよいのではないか。
委員	現時点の動画は、少し暗い終わり方となっているため、つらい状況を社会全体で変えていくといった流れになると、よりメッセージが伝わりやすいのではないか。
委員	非常につらいと感じているケアラーもいると思うが、明るく介護をしている人もいるため、悲壮感が漂う内容にしなくてもよいのではないか。
委員	県民向けの動画は、あえて前向きなシーンを入れずに、見た人に考えさせるような演出だと思うが、その先の展開を感じられるようなものでもよいと感じた。
委員	行政の支援や福祉サービスだけでなく、同僚や友達、近所の人からの温かな気遣いを感じられる場面を入れて、あなたも、私も、みんなでという思いが伝わるとよいと思う。
委員	ケアを受ける方が元気であるためには、家族が元気である必要があるため、動画の中に「家族だけで支える必要はない」という強いメッセージを入れられるとよいのではないか。
委員	サービスを利用することで在宅介護ができていると思うが、サービスだけでなく周りのちょっとした気遣いが「支える」ということではないかと感じている。 簡単な話ではないかもしれないが、「サービスと周りの気遣いがあれば」といった形で、何をしたら安心して暮らせるのかが見えてくるとよいと思う。

委員	動画の終盤に「支える人も支えたい」というコピーが出た後、主人公のその後の姿が見えると、何があったのかと興味を抱かせることができるのではないかと思う。
委員	ケアラー本人向けの動画について、支援者に相談できるということが分かる内容になり、相談するためのヒントを与えられるとよりよいと思う。
委員	自分がケアラーであるという自覚がない人も多いため、そうした人達に訴えかけるものになるとよい。
委員	ケアラー本人に自覚がないと、周りも気づくのが難しい。そうした意味で本人に気づきを与えるような動画を制作してもらえるのは、非常にありがたい。ケアラー本人向け動画の最後で先生に相談しているのもよいと思うが、相談してよかったという場面も入れられるとよりよいと思う。
委員	動画の中で相談後の姿も示せるとよいが、まずは相談していいということが伝わるようにすることが重要だと思う。
委員	事業者向けの動画について、退職願を受け取った経営者が、気づいて動き始めるというストーリーは分かるが、その後の展開が見えるとよりよくなると思う。
委員	事業者向けの動画について、経営者が相談窓口を開設するだけでなく、社員同士で相談ができることも重要と考えられるため、従業員の視点からの内容もあるとよいかもしれない。
委員	今回は、ケアラー本人や事業者といったターゲットが決まっていて、その人達に訴えていくということかと思うが、最終的には社会全体で支えるということが必要だと思う。今後の話になると思うが、そうした内容を訴えていくものも制作できるとよいと考えている。
委員	同じ境遇のケアラーが集まって話し合い、共感できる居場所づくりが重要であるため、相談だけでなく居場所づくりにも取り組んでほしい。
委員	広報・啓発で、ケアラーの方々が一人で悩まずに相談できる環境をつくるのも重要だが、サービスや支援の充実も含め、社会全体で支えていく体制を整備していく必要があると考えている。
事務局	本日の意見を踏まえ、推進月間での広報・啓発をはじめとする取組みを進めていく。 (閉会)